

島根県糖尿病療養支援機構 機関紙 Vol.4

Ψ 巻頭言
 Ψ 新体制でスタート
 Ψ 新理事から一言
 Ψ 平成29年度総会
 Ψ 平成28年度事業報告(NPO事業分)
 Ψ 島根糖尿病研修会2017報告
 Ψ 浜田駅北医療フェスタから
 Ψ 島根糖尿病研修会2018予告
 Ψ ホームページリニューアルしました
 Ψ 事務局からのお知らせ
 Ψ 編集後記



NPO法人 島根糖尿病療養支援機構

Non-Profit Organization Shimane diabetes care support organization(SDCO)

〒690-0883 島根県松江市北田町2-3

TEL:0852-20-0700 / FAX:0852-20-0880

http://www.sdmrso.jp / E-mail: info@sdmrso.jp

巻頭言

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構 理事長 並河 整

平成28年の国民健康・栄養調査でわが国の糖尿病患者数は推計で1,000万人となり、調査が開始された平成9年の690万人から300万人余りの増加となりました。糖尿病の合併症は網膜症、腎症、神経障害の3大合併症にとどまらず、メタボリックシンドロームの病態では糖尿病予備軍の段階から動脈硬化が急速に進行すること、糖尿病が存在すると骨粗鬆症や認知症、一部の癌の発症リスクが約2倍になることが明らかになり、高齢社会の中で健康寿命を脅かす重大な疾患となっています。

島根の糖尿病対策は昭和50年代に本格化し、病院での教育入院や地域での糖尿病教室が熱心に実施され、患者と医療者とが「糖尿病のある人生」を共に歩み、協同で糖尿病重症化予防に当たる場として糖尿病友の会が各地で結成され、島根県の糖尿病協会の組織率は全国一となりました。1997年には2年間で6回の1泊2日の研修を重ねて糖尿病の専門的知識を身につける「島根県糖尿病療養指導士(CDE)」の制度ができ、専門医不足の本県で現在までにおよそ500名の医療者がCDEの資格を取得し、各地域で活躍しています。発足して20年が経過し、今年の7月には第10期生の認定試験が予定されています。

このような事業の推進・支援を目的に当法人は2006年4月に設立されました。これまでの島根の糖尿病への取り組みの伝統・文化を継承し、更に深化・発展させて後進に伝えていくことが私たちの責務と思います。今後も多くの関係者に参加して頂ける様、研修会の開催、医療機関や地域等への指導者・講師の紹介・派遣事業などを積極的に展開して参りたいと思います。幸い今日まで当法人も少しずつ県内外に認知され、ご支援・ご協力を頂ける方が増えておりますが、多くの活動はボランティアで支えられている現状は変わりません。関係団体のご協力を頂きながら法人運営の効率化等も今後推進して参りたいと思います。今後とも皆さまのご協力、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

◇NPO法人島根糖尿病療養支援機構新体制でスタート！◇

NPO法人島根糖尿病療養支援機構理事の任期満了に伴い、松本祐二理事と佐藤利昭理事の退任を受け、役員改選の結果、以下の新体制でのスタートとなりました。

役 名	理事長	副理事長	副理事長	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	監 事	顧 問
氏 名	並河 整	田中美紗子	山根雄幸	乗本道子	伊東康男	福庭 洋	手納信一	垣羽寿昭	川谷 恭典	泉 典子	松本 祐二
勤務先	並河内科 クリニック	松江 記念病院	山根病院	安来 市立病院	島根県立 中央病院	福庭 内科医院	手納医院	松江 赤十字病院	かわたに 薬局	さくら薬局	松本医院

◇新理事から一言◇

垣羽寿昭理事(松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科)

この度、島根糖尿病療養支援機構(SDCO)の理事を拝命しました松江赤十字病院の垣羽と申します。

患者数の増加に加え、高齢化や認知症患者の増加など、糖尿病をとりまく状況はなかなか厳しいものがあるなあと感じる今日この頃ですが、熱意あるスタッフ(特にCDEの皆さん)に支えられ、何とか日々の業務が行えていることに感謝しています。

SDCOでは、糖尿病関連の講演会や研修会の開催のみならず、講師派遣や栄養士紹介、企業とタイアップした予防活動など、様々な事業が展開されていると伺っています。理事として何をすべきか、自身でも判りかねていますが、急性期病院に勤務する糖尿病専門医として、また島根CDE認定機構の事務局業務に携わる者としての立場から、SDCOの活動に協力していければと考えています。まだまだ未熟者でありま故、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

川谷恭典理事(かわたに薬局)

この度、島根糖尿病療養支援機構(SDCO)の理事をすることになりました薬剤師の川谷です。

島根県では多くの島根県糖尿病療養指導士(CDE)が、病院、診療所などの医療機関、行政などで現在も各地域で活躍しています。今後も糖尿病患者は増加し、高齢化も進んでくことから私たちCDEが今まで以上に活躍していかなければなりません。

今後も薬剤師として、医療に携わるものとして、またCDEとしてSDCOの活動に協力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

◇平成29年度 総会報告◇

日 時 平成29年11月3日(水) 13:30～15:00
場 所 くにびきメッセ 602特別会議室
出席人数 92名(内表決委任者70名)／正会員数147名
内 容

- ・総会 平成28年度(H28.10.1～H29.9.30)事業報告
平成28年度(H28.10.1～H29.9.30)活動計算書決算報告
平成29年度(H29.10.1～H30.9.30)事業計画
平成29年度(H29.10.1～H30.9.30)会計活動予算
NP0法変更に伴う定款変更について
任期満了に伴う役員改選について

・懇談会「NP0法人島根糖尿病療養支援機構の活動報告」 副理事長 田中美紗子

※ NP0法人島根糖尿病療養支援機構の概要、役員、定款、財務情報等については、HPに掲載(5P参照)



◇平成28年度事業報告(28.10.1～29.9.30) ◇

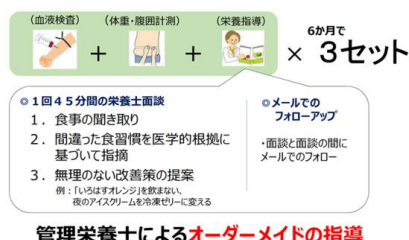
事業報告(NP0事業)

年月日	場 所	内 容
10月～2月	(株)テクノプロジェクト	島根発ヘルスケアプロジェクト先進モデル構築支援事業《島根県実証実験》
11月23日	松江赤十字病院	平成28年度 NP0法人島根糖尿病療養支援機構 総会・研修会
12月10日	松江市保健福祉総合センター	松江市糖尿病性腎症保健指導事業開始(1例目初回面談)
3月5日	益田赤十字病院	第1回島根糖尿病合同研修会2017打合せ
5月21日	松江市総合体育館	松江市健康福祉フェスティバルにて展示・栄養相談
5月28日	くにびきメッセ	第2回島根糖尿病合同研修会2017打合せ
6月7日	(株)テクノプロジェクト	(株)テクノプロジェクト新入社員食生活講座
7月23日	松江赤十字病院	第3回島根糖尿病合同研修会2017打合せ
8月27日	くにびきメッセ国際会議場	島根糖尿病合同研修会2017(第91回糖尿病を考える会)
9月10日	松江市保健福祉総合センター	松江市糖尿病腎症重症化予防プログラム研修会(ケースカンファレンス)
通年	(株)テクノプロジェクト	ヘルスプロジェクト個別面談
通年	ホームページ更新	研修予定・CDE認定研修講義ビデオ更新
通年	各開業医	管理栄養士による個別栄養指導 6施設 263件
通年	松江市国保	松江市特定健康保健指導 動機づけ支援1件 積極的支援2件
通年	松江市国保	松江市糖尿病腎症保健指導 1件

活動報告



個別指導が中心のプログラム



管理栄養士によるオーダーメイドの指導

松江市糖尿病性腎症 保健指導事業

指導担当: 島根県糖尿病療養指導士取得の
管理栄養士

指導医: 並河 整

事業期間: 平成28年～

実施場所: 松江市

実施人数: 平成28年度: 1名
平成29年度: 7名～

(株)テクノプロジェクトのヘルスプロジェクト事業

糖尿病療養指導士の管理栄養士による「食」を中心とした「生活習慣改善プログラム」の構築を目指しています。

個別指導が中心のプログラムで、
(採血+体重・腹囲計測+栄養指導)×6ヶ月で3セットとなっています。

面談と面談の間では、mailでのフォローもします。

面談は1回45分で、まず食事の聞き取りをし、間違った食習慣を医学的根拠に基づき指摘し、無理のない改善策の提案する管理栄養士のオーダーメイドの指導です。

松江市糖尿病性腎症保健指導事業

島根県糖尿病療養指導士を取得した管理栄養士が担当しています。
指導医の並河先生の元、研修やケースカンファレンスをして、指導の質を保ち、連携を取りながらすすめています。

昨年度は1名でしたが、今年度はすでに7名を実施しています。

島根糖尿病合同研修会2017

島根県の糖尿病療養支援にかかわる、「NPO法人島根糖尿病療養支援機構」「糖尿病を考える会」「島根県糖尿病療養指導士の会」の三会で、2回目の合同で研修会を開催しました。
全体で265名が一堂に会した研修会になりました。

会 期	平成29年8月27日(日)
会 場	くにびきメッセ 国際会議場
主 催	NPO法人島根糖尿病療養支援機構 糖尿病を考える会 島根県糖尿病療養指導士の会
講演Ⅰ	座長:松本祐二(松本医院) 演題:「運動療法の実施率を100%にする科学的アプローチ法」 講師:順天堂大学 糖尿病・内分泌内科 准教授 田村好史先生
講演Ⅱ	座長:石川万里子(島根大学医学部) 演題:「糖尿病網膜症についての最新情報」 講師:高梨眼科 院長 高梨泰至先生
ランチョン セミナー	商品紹介 第一三共株式会社・田辺三菱製薬株式会社
	座長: 乗本道子(安来市立病院) 演題:「肥満症・糖尿病における個別化精確医療(precision medicine)の展開」 講師:琉球大学医学部研究科教授 益崎裕章先生
講演Ⅲ	座長: 並河 整(並河内科クリニック) 演題:「糖尿病と認知機能障害」 講師:国立病院機構 柳井医療センター 副院長 認知症疾患医療センター センター長 宮地 隆史先生
講演Ⅳ	座長:川谷恭典(かわたに薬局) 演題:「糖尿病と歯周病」 講師:吉川歯科クリニック院長 吉川浩郎先生

職種	受講者数
医師	8
保健師	14
助産師	3
歯科衛生士	6
理学療法士	10
臨床検査技師	10
看護師	69
管理栄養士	49
薬剤師	19
薬剤師会(会員外)	60
歯科医師(会員外)	5
その他非会員	12
受講者数	265



ロウカット玄米使用
600kcalのお弁当

◇「浜田駅北医療フェスタ」での糖尿病啓発活動을続けて思うこと・・・◇

NP0法人島根県糖尿病療養支援機構 副理事長
医療法人慈誠会山根病院 副院長 山根雄幸

このたび、副理事長に就任しました山根でございます。これまで理事として当機構の発展、活動に微力ながら携わってまいりました。私は、島根県西部の浜田市で糖尿病診療をしております。浜田市は、2017年12月現在の人口が55,000人、高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、なんと35.7%です。2015年国勢調査の全国平均26.6%に比べてもはるかに上回り、まさに超高齢社会の最前線ですが、海と山に囲まれ自然豊かな暮らしと石見神楽など伝統芸能が継承される魅力的な町です。

2011年に浜田市で「ブルーライトアップイベント」を開催しました。浜田市、江津市の糖尿病療養指導士を中心に、医師会、行政、糖尿病友の会、各種団体のご協力のもと「糖尿病啓発活動」を行うことができました。これまで協働の機会がなく、互いを知らないまま過ごしてきましたが、イベントを通じて多くの方と知り合いになれたことが、何よりの宝となりました。このネットワークを活かし糖尿病啓発活動の継続ができないかと検討し、翌年の2012年から「医療・福祉の町づくり 浜田駅北医療フェスタ」にブースを設け、浜田圏域糖尿病対策推進会議が主催となり、NP0法人島根県糖尿病療養支援機構、島根県糖尿病協会、島根県糖尿病療養指導士の会、糖尿病友の会の共催のもと、糖尿病啓発活動を行っています。

本イベントは市民参加の浜田市では大きな行事の一つです。浜田医療センターの屋外特設会場で、飲食の店、商品の展示や販売、企業や団体のPR活動、献血・アイバンク・骨髄バンクの活動、ステージでのパフォーマンスや石見神楽の上演があります。毎年、10月の日曜日に開催され、9:00～15:00まで多数の来客があり、とても賑やかなイベントとなっています。

毎年、コメディカルの中からリーダーを決め活動内容や役割分担、タイムスケジュールを作成します。浜田市、江津市を中心に施設、地域を超えて参加者を募り30名前後で活動を行っています。活動内容は、屋外の限られたスペースで、ステージの音響や当日の天候を考えながら試行錯誤で実施してきました。とりわけ血糖測定はニーズが多いことから、この活動の目玉として巡回診療の届けを行い必ず実施しています。1回の測定で、糖尿病と結びつけるのではなく、血糖測定をきっかけに検診や医療機関の受診につながることを目指します。また、質問や気がかりなことがあれば、医師や糖尿病療養指導士が職種の専門性を活かして相談に応じます。しかし、テント1張りの限られたスペースでは、プライバシーを保つことが困難で、周囲の雑音など環境面では限界がありますので、簡単な情報提供とかかりつけ医へ相談することをお勧めします。

ステージのPRタイムを活用し、浜田保健所の医師から糖尿病と生活習慣についての説明やブースの紹介をしていただきます。また、大活躍するのが健康長寿しまねマスコットキャラクター“まめなくん”で、人を引きつける魅力があります。ブースには、糖尿病で治療中の方から糖尿病に関心はあるが検査を受けたことがない方、糖尿病に全く関心がなかったが血糖測定を体験したい方など、毎年300名前後の方が立ち寄って下さいます。

2017年10月15日、今回で6回目の活動を行いました。残念ながら雨天のためテントの中のレイアウトを調整し、待っている方が濡れない工夫や泥濘んだ足下を補強しながらの活動となりました。天気予報を基に、雨天のレイアウトや傘立ての準備など雨対策は十分計画されていましたが、現場での調整が必要になりました。「臨機応変」状況に合わせ柔軟な対応をすることは、どこか糖尿病療養指導に似ています。そして、目的を達成するために意見を出し合い共同することは、まさにチームワークです。回数を重ねる毎に、参加者のリーダーシップやメンバーシップが発揮できるようになったと実感しています。

最後に、これまでの活動を振り返り、継続するには所属施設を超えた“仲間とのつながり”を大切にしていけることが重要と感じています。今後もこのようなイベントを通じ、地域の皆様に糖尿病への理解を深めていただけるよう活動を続けていきたいと思ひます。



PR中です



準備してます



活動開始！



全員集合！！

今回の講師陣の予定です。

- (1) 女子栄養大学教授 本田 佳子先生
- (2) 国立がんセンター 大橋 健 先生
 - ・がんに関係すること
 - ・エンパワメントについてなど。
- (3) その他の講師(交渉中)
 - ・高齢者糖尿病の看護について(看護師)
 - ・運動について(理学療法士)
 - ・県内専門医⇒骨の話、歯科関連など

次回もご期待ください！！

是非手帳にメモってください(._.)φ

島根糖尿病合同研修会2018 予告！！

会期：平成30年8月26日(日)

会場：くにびきメッセ 国際会議場

お待ちしております！



◇世界糖尿病デー ブルーライトアップイベント◇

日時：平成29年11月18日(土)

場所：松江城天守閣・松江赤十字病院

世界糖尿病デー



講演4題:大勢が学びました



一般公募された減塩レシピ
約200種が集まりました！



雨の中、きれいにライトアップ！

◇ホームページ リニューアルしました！！◇

<http://www.sdmrso.jp>



- ・研修会・講習会
- ・お知らせ
- ・会員について
- ・入会申し込み
- ・年間スケジュール
- ・会員専用ページ
- ・SDCOについて
- ・お問い合わせ

⇒研修会・講習会のご案内

⇒事務局からのお知らせ

⇒会員の種類について

⇒入会申し込み用紙のダウンロードができます

⇒資格更新のための単位取得できる研修会等のスケジュール

⇒NPO作成媒体のダウンロード、認定研修講演ビデオの視聴

⇒NPO法人島根糖尿病療養支援機構の概要、役員、定款、財務情報等

⇒お問い合わせはこちらから！

* 会員専用ページのパスワード

2018年2月15日より変更となります。新パスワードは正会員へお知らせしております。(機関紙と同封)

パスワードがわからない方は、office@sdmrso.jp(伊藤)にお問合せください。

本年度も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇事務局からのお知らせ◇

- ◆年会費納入のお願い◆ 平成28年度分(28年10月1日～29年9月30日)…未納の方
平成29年度分(29年10月1日～30年9月30日)…未納の方
※納入状況が不明の方は事務局へお問い合わせ下さい。(office@sdmrso.jp:伊藤)

会員種類	内容	入会金	年会費
正会員	この法人の目的に賛同して入会し活動を推進する個人 (医療職に限らず一般の方すべて入会可能です)	2,000円	3,000円
準会員	現在、島根県糖尿病療養指導士 取得のための研修会を受講中の者	無料	無料
賛助会員	この法人の事業を賛助するために入会した団体	無料	5,000円

◆ご寄付のお願い◆

会費とは別にご寄付を受け付けています。

会の運営・発展のため、皆様からのご寄付をお待ちしています。

【振込先】

郵便振替口座:01360-5-85177

ゆうちょ銀行:15380-14463881

山陰合同銀行:益田支店 3627347

特定非営利活動法人

特定非営利活動法人

特定非営利活動法人

島根糖尿病療養支援機構

島根糖尿病療養支援機構

島根糖尿病療養支援機構

◆島根県糖尿療養指導士10期生が受講中です◆

10期生56名が受講中です。7月の資格試験に向けてがんばってください。

◆登録内容の変更は速やかに連絡ください◆

勤務先・ご自宅住所の変更の場合、発送先変更など、速やかに事務局へ連絡してください。

⇒ e-mail:office@sdmrso.jp(伊藤)

FAX専用:0852-61-0852(通話不可)

◆新入会のお誘い◆

会員の皆様のまわりに、当機構の趣旨に賛同いただける方に入会のお誘いのお声かけをお願いします！！

入会方法等、HPの「入会の申込み」をご覧ください。

https://www.sdmrso.jp/nyukai_mosikomi/



編集後記

NPO法人の活動が活発になってきました。

29年度も1/3が過ぎました。松江市糖尿病性腎症保健事業も今年度は昨年度に比べ医療機関数も患者数も増加し、松江市内の開業医の方々に徐々に認められていると思います。(株)テクノプロジェクトとのヘルスプロジェクト事業も継続して実施中です。この2つの事業中で栄養指導の優れた管理栄養士を育成していくことにも繋がってきています。

加えて第二回となる三合同研修会「島根糖尿病合同研修会2017」も多数の参加者を迎えて糖尿病療養支援活動が連携を深くできるようになりました。

来年度も一層の飛躍ができるよう皆様のご支援をお願い致します。